

真実を明らかにする！No.5

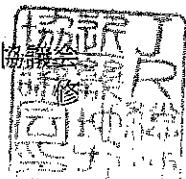
懲りずに「組織を混乱させる文書」を発行し続ける 津崎議長に、文書の撤回を求める！！

2024年3月7日、JR総連近畿地方協議会の津崎議長は、JR総連の山口委員長宛に「JR総連より委任された聞き取り調査ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」なる報告文書を発行しました。しかし、この文書には、「事実認定の誤り」と「根拠となる理由が不明な事項」があります。したがって、私たちは文書の撤回を求めました。

2024年3月7日

全日本鉄道労働組合総連合会
執行委員長 山口 浩治 殿

JR総連近畿地方協議会
議長 津崎



JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびに

JR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について

2024年2月29日、JR総連近畿地協は第3回常任委員会を開催し、JR総連から委任されていた「近畿地協第35回定期委員会に関する聞き取り調査」について、指令1号を発出しJR東海労新幹線関西地本執行委員長笛田伸治氏に関係者4名の調査日程の調整を要請してきた。その後、JR東海労新幹線関西地本浦谷書記長から「JR総連近畿地協(発)指令1号について」なるFAXが届き、その中で、「書面(「指令1号」)については、4名へ渡しております。」「組合員4名は、調査等には協力する姿勢です。」と書かれていることから聞き取り調査に応じると認識していた。また、FAXでのJR東海労新幹線関西地本からの疑問に対しても、速やかに指令2号で回答し、その後、何も連絡がないことから理解したと認識していた。

しかし、2月10日の締め切り日を過ぎた2月16日に突然、関係者4名の一人である小林國博氏から電話で、「JR総連第9回執行委員会見解が発出され、その中でJR東海労新幹線関西地本が組織破壊攻撃・組織破壊者と断定されたうえで、聞き取り調査をする必要はない。対象者4名は出席しない。4名を代表して小林が連絡する」と聞き取り調査を拒否する姿勢を示してきた。JR総連近畿地協は再度、聞き取り調査を小林氏が拒否するのか2月19日に確認を行い、小林氏が聞き取り調査を拒否することに変わりないことを確認した。

JR総連近畿地協第3回常任委員会では、①昨年12月に執拗に聞き取り対象者である小林氏と渡邊氏、自らが調査依頼をしてきたこと、②1月29日に開催したJR総連近畿地協第2回常任委員会で浦谷氏は聞き取り調査に応じるような姿勢を示してきたのにも関わらず、締め切り日までに何の連絡もなく、一方的に聞き取り調査を拒否する姿勢は自ら犯した組織破壊の事実に向き合わないということであり、決して許されるべきことではないことを確認した。

そして改めて、第1回常任委員会で確認した「JR総連近畿地協35回定期委員会でのJR東海労新幹線関西地本が行った行為は組織破壊行為」であり、さらに「聞き取り調査を拒否したことは、組織破壊行為を超えて組織破壊攻撃であること」をJR総連近畿地協第3回常任委員会において確認した。

加えて、2023年12月13日に開催したJR総連近畿地協第1回常任委員会以降、JR東海労新幹線関西地本がJR総連近畿地協第35回定期委員会で組織混乱を生じたにもかかわらず、JR連合「民主化闘争情報」を鵜呑みにし、「過ちては改むるに憚ること勿れ」なる文書を作成し、問題を覆い隠す行為ならびにその文書を用いてJR総連近畿地協議長や副議長をホームページ上で執拗に繰り返し誹謗中傷する行為は、明らかに組織破壊攻撃であることをJR総連近畿地協常任委員会として確認した。

従って、JR総連近畿地協はJR総連並びにJR東海労本部に組織指導を強く要請する。

以上

JR総連近畿地方協議会
議長 津崎 修殿

2024年3月19日

JR東海労働組合新幹線関西地本
執行委員長 笹田



『JR総連山口委員長への「JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」』について

JR総連は、JR東海労に対し「JR総連連絡第73号」を発出しました。しかし、このJR総連連絡第73号の根拠となる近畿地協の3月7日付の「指令5号」と思われる『JR総連山口委員長への「JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」』には、下記に記載するような「事実認定の誤り」と「根拠となる理由が不明な事項」があります。

したがって、東海労新幹線関西地本は、『JR総連山口委員長への「JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」』の撤回を求めます。

1. 事実認定の誤り

- ① 昨年11月26日の近畿地協定期委員会において、地協常任委員会（笹田、浦谷を除く）が、“問題だと指摘している行為は（この）問題”だと主張されている行為が、「定期委員会を混乱させた組織破壊行為である」との主張には同意できないことが、前提であることを明らかにしておきます）、東海労新幹線関西地本が行った行為ではありません。11月26日の近畿地協定期委員会の委員である東海労新幹線関西地本選出の渡邊、下茂委員と傍聴者の小林（東海労新幹線関西地本組合員）が行った行為です。したがって、東海労新幹線関西地本が11月26日の近畿地協定期委員会で組織破棄行為を行ったとの主張は誤りであり、撤回されることを求めます。
- ② さらに「聞き取り調査を拒否したことは、組織破壊行為を超える組織破壊攻撃である」ことを確認したと主張されているが、「聞き取り調査」を「お断り」したのは、東海労新幹線関西地本の組合員である渡邊、下茂、西、小林の4名ですが、東海労新幹線関西地本が地本組織として拒否な

ど一切していません。したがって、東海労新幹線関西地本が「聞き取り調査を拒否した」かのような主張は誤りであり、撤回することを求めます。

なお、東海労新幹線関西地本は、「4名の東海労新幹線関西地本組合員への『近畿地協からの指令第1～5号による聞き取り調査に関する文書』が笛田新幹線関西地本委員長に対し送られてきた」ことから、念のため、4名の組合員に対しては、笛田委員長に送られてきた指令第1～5号を渡していることも申し述べていきます。

2. 根拠となる理由が不明な事項

加えて、「JR東海労新幹線関西地本が・・・JR連合『民主化闘争情報』を鵜呑みにし、『過ちては改むるに憚ること勿れ』なる文書を作成し、問題を覆い隠す行為ならびにその文書を用いてJR総連近畿地協津崎議長や副議長をホームページ上で執拗に繰り返し誹謗中傷する」と、主張されています。

しかし、上記主張で言われている内容がよくわかりません。したがって、以下のことについて、明らかにすることを求めます。

- ① 「『民主化闘争情報』を鵜呑みにし、『過ちては改むるに憚ること勿れ』なる文書を作成」していると主張されていますが、何のことか理解できません。いったい「民主化闘争情報」のどのような記述を「鵜呑み」にしていると主張されているのか、具体的に明らかにすることを求めます。
- ② また、「過ちては改むるに憚ること勿れ」は「問題を覆い隠す行為」だと主張されていますが、何のことか具体的には理解出来ません。よく理解できるように、具体的な内容を明らかにすることを求めます。
- ③ そして、「過ちては改むるに憚ること勿れ」文書を用いて、近畿地協議長や副議長を繰り返し誹謗中傷する」と主張されていますが、この文書のどの記述が議長、副議長に対する誹謗中傷なのか、具体的に指摘することを求めます。もし指摘され、その指摘通りなら、謝罪しホームページから削除することも明らかにしておきます。

以上

2024年3月22日

JR総連近畿地方協議会
議長 津崎 修 殿

JR東海労新幹線関西地本
小林 國博

貴方が2024年3月7日に作成された「JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」なる報告文書について

連日ご苦労さまです。

貴方が2024年3月7日に作成された「JR総連より委任された聞き取り調査報告ならびにJR東海労新幹線関西地本による組織破壊攻撃の確認について」なるJR総連（山口委員長）への報告文書を拝見しました。相変わらず、この文書も事実に反します。何度も言っていますが、事実を都合よく捏造しないでください。事実は以下の通りです。

1、私たちは、聞き取り調査を拒否するなど一度も言っていません。

私たち（渡邊と小林）は、2023年12月21日、津崎議長宛てに文書を郵送し、「是非、何が真実なのかを公に明らかにするためにも、早急に聞き取り調査の日程を設定してもらうことを求めます。」として、具体的な候補日も伝えました。【別紙1参照】

その返答が12月24日、津崎議長から 笹田委員長へ郵送されてきました。これを知らされた私たち（渡邊と小林）は同日、「もう一度だけお願ひします。仲間を組織破壊者にでっち上げるための聞き取り調査ではなく何が真実かをはつきりさせる場を早急に設定してください。回答する相手は、 笹田委員長ではありません。回答は、渡邊幹夫と小林國博によろしくお願ひします！」という内容の文書を津崎議長に郵送しました。【別紙2参照】

上記で明らかな様に、私たちは、何が真実なのかを公に明らかに（はつきり）する（させる）ための聞き取り調査を早急に設定してもらうことを求めてきたのです。

2、関係者の一人である私（小林）は突然電話をかけたのではありません。

上述した様に、「回答は、渡邊幹夫と小林國博によろしくお願ひします！」と

伝えていたのに、いつまで経っても連絡が来なかつたため、2024年2月16日に、こちらから連絡をしたのです。

そして私（小林）は、津崎議長と以下のようなやりとりをしたのです。

【2月16日（金）13時25分頃】

小林から津崎議長（貨物労組関西地本事務所）に電話

小：直接連絡してくれと言っているのに、何も連絡が無いので、連絡させてもらいました。

- ① JR総連第9回執行委員会の見解を読んで、4人で相談しました。
- ② 組織破壊行為とか組織破壊者と断定された上での聞き取りなど受ける必要はないということで、4名を代表して「お断り」の連絡をさせてもらいます。
- ③ こちらで相談して、書面などを出す必要がある場合は後日に出しますので、よろしくお願ひします。

津：あ～ はい。

【同日15時40分頃】

津崎議長から小林（東海労組関西地本事務所）に電話

津：先ほどの確認をしたいんですが、聞き取りを拒否するということですかね？

小：拒否？ どういうこと？ 拒否なんかしてないよ。命令も何もされてないのに拒否はないやろ。組織破壊行為とか組織破壊者などと断定された上で聞き取り調査など受ける必要ないと判断したから、「お断り」すると伝えただけでしょ。そういうことです。それでいいでしょ。

津：はい。

【2月19日（月）16時頃】

小林から津崎議長（貨物労組関西地本事務所）に電話

小：電話をいただいたようですが、なんでしょうか？

津：前田さんに電話番号を教えてもらったので、こちらからかけようとしていたところでした。

（小林さんが）先日、聞き取り調査に応じる必要はないということに対し、総連としては拒否したという判断をさせていただきますので、それを伝えるために電話しました。

小：なんじゃそれ。俺は拒否なんかしてないよ。誰が判断したの？ 総連が判断したの？

津：はい、総連が判断しました。

小：総連の誰が判断したの？

津：総連の山口委員長です。

小：津崎さんの報告を受けて、山口委員長が判断したということ？

津：はいそうです。

小：そんな無茶苦茶な話が通用するわけないやろ。

津：総連が拒否したと判断したということなんで、近畿地協は総連の要請を受けてやりましたので。

小：俺はそんなこと認めないよ。拒否なんかしてないよ。

津：私からお伝えするのはそういうことですので、よろしくお願ひします。

小：それは、そっちの勝手な言い分。そんなこと、お願ひされないよ。そう伝えてください。

以上が、私と津崎議長のやり取りです。

私（私たち）は、「別紙1，2」に明らかにしていますが、近畿地協常任委員会やJR総連が、私たちが近畿地協定期委員会で組織破壊行為を行ったと主張していることに対して、事実を明らかにするための「調査」に応じることを表明していたのです。

したがってJR総連「見解」の、「JR総連からの調査依頼は、組織破壊行為が行われたか否かを調査するものではない。（私たちが組織破壊行為を行ったことを前提とした、）何ゆえに組織破壊行為が行われたのかを調査する」といった主張は、そもそも、何のための「聞き取り調査」を行うのかの前提が私たちと180度違っているのです。

津崎さんは、上記の事を隠し、私（私たち）が「組織破壊行為が行われたか否かの、事実を明らかにする『聞き取り調査』を拒否した」かのように描き出そうとしているのです。

今回の近畿地協定期委員会での「問題」の核心は、JR総連（近畿地協）が真実を明らかにしようとしないことです。『民主化闘争情報』と『9.8緊急声明』を許可なく配布したなどという事ではありません。渡邊委員の質問にJR総連（熊谷書記長）が答えられなかつたことです。

そして津崎議長や菅野副議長らが嘘を言って組織破壊行為・組織破壊攻撃・組織破壊者をでっち上げようとしていることです。

津崎さん、どうせこの文書も受け取らないのでしょうかから、法廷の場ではつきりさせましょう。

よろしくお願ひします。

以上。

【別紙1】

J R 総連近畿地方協議会
議長 津崎 修 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地本

渡邊 幹夫
小林 國博

連日の活動ご苦労様です。

J R 総連近畿地方協議会副議長の笹田さんと常任委員の浦谷さんからの報告を受けて、あきれ果てて、怒り心頭です。

2023年11月26日に開催された定期委員会での出来事をその場では一切問題にせず、またその後も関係者から一切話を聞くこと、そして発言者（渡邊）の率直な質問に一切答えることもせず、嘘までついて、私たちの行為を「組織破壊攻撃」としてでっち上げようとしたこと。そして嘘がばれると12月13日、笹田副議長宛に「11月26日の定期委員会後の打合せで、津崎議長が組織破壊攻撃を確認したと言っていましたが、組織破壊攻撃を確認したことは無かつたことを出席した常任委員全員で確認しました。津崎議長の11月26日の組織破壊攻撃の確認は撤回します。申し訳ございませんでした。謝罪しあわせび申し上げます。」「しかし、本日の常任委員会で、あらためて規約規則に基づかないビラ配布や9月8日付け怪文書の配布は、定期委員会を混乱させる行為は事実として発生した為、これは組織破壊行為であることを今日の地協常任委員会で出席した9名の常任委員全員で確認しました。」「また関係者に対して今後怪文書の出所や誰が主導したのかなど、聞き取り調査を行っていくことも今日の常任委員会で確認しました。」などという厚顔無恥なLINEを送り付ける行為は恥の上塗りであり、伝統あるJ R 総連の運動と組織を汚す行為以外の何物でもありません。

報告によると、「関係者に対して聞き取り調査を行っていく」ことが確認されたそうですが、「関係者」である渡邊と小林は、是非、何が真実なのかを公に明らかにするためにも、早急に聞き取り調査の日程を設定してもらうことを求めます。

私達の都合のつく日は、12月26日、12月28日、12月29日の夜です。

聞き取り調査は、真実を知っていただくためにも録音しましょう。

早急の設定方、よろしくお願ひ致します。

なお、この書面を郵送したことは、近畿地協の組合員の皆さんに公表することを申し添えておきます。

以上。

【別紙2】

2023年12月24日
JR総連近畿地方協議会
議長 津崎 修 殿

JR東海労働組合新幹線関西地方本部
渡邊 幹夫
小林 國博

連日の活動ご苦労様です。

JR総連近畿地方協議会津崎議長から、JR東海労働組合新幹線関西地方本部の笹田委員長宛に『速達』で書面が郵送されてきたことを12月24日に知りました。早速、その内容を拝見しました。

私達は、津崎議長の対応にますます怒り心頭です。

JR総連と津崎議長に「組織破壊行為」のでっち上げを1日も早くやめてもらい、真実を公に明らかにするために、早急に「聞き取り調査」をやるようにお願いしたのは渡邊幹夫と小林國博です。まず、返事をする相手が違います。

それにとどまらず津崎議長は、12月13日の近畿地協常任委員会で「規約規則に基づかないビラ配布」と「9月8日付け怪文書の配布」は「組織破壊行為である」ことを確認した。従って「関係者に対して今後怪文書の出所や誰が主導したのかなど、聞き取り調査を行っていくことも確認した」などと恥ずかしげもなく言っていました。そして今回は更に恥の上塗りです。笹田委員長に対して「組織破壊行為」をでっち上げることへの理解と協力をお願いしているのです。

津崎議長！？自分がやっていることが分かっているのですか？

貴方がやっていることこそ組織破壊行為ですよ！

貴方には良心のかけらもないのですか？

貴方がそのような姿勢ならば、私達は法的手段をも含めた対応をさせてもらわなければなりません。

もう一度だけお願いします。

仲間を組織破壊者にでっち上げるための「聞き取り調査」ではなく何が真実かをはっきりさせる場を早急に設定してください。

回答する相手は、笹田委員長ではありません。

回答は、渡邊幹夫と小林國博によろしくお願ひします！

以上。